



ウイルス拡散速度を下げ時間を稼ごう-メルケル首相

ドイツ国民向けのメルケル首相の演説(3月15日)をギュンターリッつこさんが日本語に訳して下さい。

ドイツ国民向けのメルケル首相の演説(3月15日)をギュンターリッつこさんが日本語に訳して下さい。

メルケル首相は「▽民主主義だから政治的決定は理由を明瞭に解説する▽ウイルス学者等の協議会の情報に基づいて話す▽公的な生活を止めウイルス拡散速度を下げ、治療薬やワクチンの開発の時間を稼ごう▽食料の供給は心配無用、買い溜めはするな▽民主国家だから強制しないで、知識を共有し協力し合おう」と。

疑問には真摯に応え徹底的に討論する。これなら、異論はあっても、今は協力しようと言う気持ちになれる。

森加計桜検事長と質問をはぐらし、過去の政府答弁を勝手に変える安倍首相とは余りにも違う。

その為に中小商店、飲食店、塾や体操教室、絵画、習字教室も休んで貰わなければならない。バイトで学費、生活費を稼ぐ学生はバイトが無くて困っている。

社会を守る為に休むのだから、国が補償するのは当然だ。

安倍政権は「休業補償をしている国は無い」と云うが英国もドイツも休業したらすぐに補助金を出している。

「お金が無いから休んで居られない」と皆が店を開けたらたちまちコロナ大流行だろう。あなたはどうか思われませんか？

メルケル首相の演説は「ギュンター リッつこ メルケル」で検索するとヒットする

品濃一里塚

神奈川県横浜市戸塚区品濃町・平戸町
二〇二〇年四月



日本橋から歩き、保土ヶ谷宿を過ぎたら東海道の難所、権太坂。登り切って境木地蔵にお参り。次は焼き餅坂の途中の茶店で焼き餅を売っていたという。下ったら、又、上り。昔の人は大変だったと思う。登り切ると峠に品濃一里塚がある。江戸から九里目。一六〇四年、江戸幕府は五街道を整備。駄賃銭を決めるために江戸日本橋からの距離がはっきりするように一里毎に五間(九m)四方の塚を設けた。一里塚は道の両側に築かれた。今は壊された一里塚が多い中で両側の塚が残っているのは神奈川県内でここだけ。

この絵は京都に向かい右側の塚の頂部。大きな榎、タラの木、榎の木などがある。東海道の林の左下だ。